

第1回 『枯木処分、水路整備、直売所裏枕木移動、堀の内畑片付け』

と き 2012年4月7日(土) 9:30 - 17:00

ところ 谷っ戸ん田、直売所裏竹林、堀の内畑

天 気 晴れ時々曇り

参加者 磯、梅下早苗・裕次郎、加藤、霧生、久保、坂本、佐々木利江、高田裕司・直子(午後から)
藤田、松下、松本洋子、園主 計13名(子ども1人含む)

【午前】

- ・ 水路の整備は、園主がユンボで杭と土をさらい、田んぼに上げる。
- ・ 土に混ざっている杭を端に寄せる。8日にファンクラブの方々が護岸工事をするとのこと。
- ・ 後の人は、落ち葉かきのときに集めた木々を田んぼに運び、笹と一緒に燃やす作業。

【お昼】

- ・ 高田家の畑でとれた菜の花を頂く。

【午後】

- ・ 二つに分かれて作業を開始する。枕木運びに5人。
- ・ 後の方々は堀ノ内に移動しひたすら雑草と格闘する。休息も取らなかつたらしい...
- ・ 竹林組も畑に合流し、畑にて解散。一部の方々は、谷戸にもどり、鎌の手入れとバケツリレーにて水を出す作業あり。

感想

- ・ 段取りの話し合いをする。
- ・ 焚火をして燃やすときの注意としては、木の燃え残しがないようにとのこと。
- ・ シュロの木は燃えないだろうとのこと。
- ・ 畑の作業はどうか...来週にしようか...の連絡を石田さんにすると、なるべく今日中にきれいにしてほしいとのこと。
- ・ 人数の集まる午後の作業とすることにし、午前中は水路の補助を2名とし、あとは、落ち葉かきで集めた山となっている木々をネコと人力で田んぼに運び、燃やした。
- ・ 今年の水路整備は、工事の機械で土をすくったので土だらけにならなかった。
- ・ 最後に杭を運びだすときだけ田んぼ靴を履いた。
- ・ 赤黒いサワガニの雄と雌の違いを磯さんから教わった。腹の の大きさが違うのだ。青いのは俗称クソガニと言い、食中毒をおこすので食べたらだめですよ...
- ・ 午後は、直売所の裏にある枕木の運びだしの作業に参加したが、あとから考えたら、午前中の木を運ぶ作業は午後の肩慣らしだったのかもしれない。
- ・ 約40本以上の枕木を平らな場所からちょいと急な坂を持ち上げて運ぶのは4人の呼吸もさることながら力がある。翌日の両腕の筋肉痛が物語る。
- ・ 作業中には冬眠から目覚めたムカデの雄と雌がウジャウジャ出現し、園主が何度つぶしたか。
- ・ 最後にヤモリが出た！イモリは池を守る両性類でヤモリは屋敷を守る爬虫類。足の吸盤？がかわいいい...
- ・ 竹を3本位切ってバラし作業終了。
- ・ 立派な山桜があって、連休には咲くだろうと。枕木の上でお花見か。この桜は咲くかなとか。
- ・ それから、畑に合流したが、吹く風の冷たいことなんのって。
- ・ あと少しの雑草をザクザク取り、雑草をまとめて、大根と菜の花を分けて次回作業確認後、解散。

(記録：佐々木 利江)